

# いわき支部総会並びに学会報告

## いわき支部便り

発行責任者  
 支部長  
 野木 典久  
 作成  
 柳内 智哉



平成31年度いわき支部総会並びに第32回学会が4月13日(土)、いわき市総合福祉センターにおいて総数162名(委任状78名)の参加を得て開催されました。はじめに、野木支部長より、挨拶がありました。また、来賓の山寺会長からは、2020年に仙台で開催される第69回日本医学検査学会について、福島県全体で盛り上げていきたいとお話がありました。さらに、小川しんじ氏の参議院選出場について、福臨技全体で応援していこうと話されました。また、宮島会長が国政に参加したことにより臨床検査技師の認知度が



大きく上がり、検査技師の業務拡大が行えるようになってきていることに触れ、技師連盟へのご協力をお願いします。とあいさつがありました。総会では前年度の報告と、本年度の活動計画・予算・役員改選のすべての議案が承認

され、新執行部でのスタートとなりました。学会の一般演題では、5演題の発表があり、いわき市医療センターの宇佐美技師が「ナノピアBNP-Aの基礎的検討」について、かしま病院の飯島技師が「尿路感染症からへマトイジン結晶を認めた1症例」について、いわき市医療センターの青木技師が「病理組織診断をきっかけに発見された結核性関節炎の一例」



について、松村総合病院の望月技師が「当院における臨床検査技師による検体採取への取り組み」について、呉羽総合病院の根岸技師が「当院における糖尿病療養指導の取り組み」についてそれぞれ発表しました。演題発表未経験者による発表でしたが、いずれ

も素晴らしい発表でした。特別講演では、柴田福臨技副会長より「日本臨床検査技師連盟について」と題して、その歴史から、活動内容まで詳しくご講演頂きました。

## 福島医学検査学会

第51回福島医学検査学会が6月1日(土)から2日間の日程で開催されました。一般演題では、いわき支部から7題の発表がありました。学会の後に行われた総会では、各賞の表彰が行われ、功労賞を呉羽総合病院の河村幸江技師が、学術奨励賞をいわき市医療センターの柳内智哉技師が、それぞれ受賞しました。

令和元年度福島県臨床検査技師会いわき支部役員		
役職名	氏名	施設名
支部参与	山崎 美一	自宅
支部長	野木 典久	かしま病院
副支部長	塚本 厚	松村総合病院
副支部長	松本 英明	いわき市医療センター
事務局長	柳内 智哉	いわき市医療センター
副事務局長	高萩 施津子	いわき市医療センター
学術部長	飯ヶ谷 奈央子	かしま病院
副学術部長	雨宮 きよ子	いわき市保健所
会計部長	志賀 信洋	呉羽総合病院
幹事	青天目 勇二	松村総合病院
幹事	八代 巳知子	福島県保健衛生協会
幹事	山崎 一樹	いわき市医療センター
幹事	大森 志穂	江東微生物研究所
幹事	福士 広哉	福島労災病院
幹事	大宮 泰子	江東微生物研究所
幹事	小野 美智子	呉羽総合病院
会計監査	高橋 望	福島労災病院
会計監査	川上 浩彬	常磐病院